

募集のお知らせ

- ◆日時 2025年5月24日、31日の土曜日（全2回）
①午後1時10分～午後2時40分
②午後2時50分～午後4時20分
- ◆会場 清泉女子大学 2号館4階 240教室（案内図参照）
- ◆対象 16歳以上で受講を希望される方
- ◆受講料 無料
- ◆定員 150名（定員を超えた場合は抽選）抽選の結果は5月9日以降になります。
- ◆申込方法 往復はがきに「清泉女子大学“土曜自由大学”希望」として、住所、氏名（ふりがな）、年齢、連絡先電話番号、視覚・聴覚等の配慮希望の有無をご記入の上、〒140-8715 品川区広町2-1-36 品川区文化観光戦略課 生涯学習係 までお送りください。
※品川区ホームページ及びQRコードから電子申請もできます。（4月11日～）
- ◆申込期間 4月11日（金）～5月2日（金）〈必着〉
- ◆お問い合わせ ☎ 03-5742-6837(直) FAX 03-5742-6893
品川区文化観光戦略課 生涯学習係



*受講には品川区発行の受講証が必要です。受講を希望される方は必ず申込手続きをお取りくださいますようお願いいたします。
*いただいた個人情報は①出席簿の作成②事務連絡③統計資料作成を目的に使用させていただきます。

案内図



2025年清泉女子大学公開講座（春のコース）—— 第43回

土曜自由大学

〈受講生募集〉



国指定重要文化財 旧島津家本邸 本館（清泉女子大学本館）

日時 5月24日・31日
全2回／午後1時10分～4時20分
会場 清泉女子大学2号館4階・240教室
= 受講料無料 =

共催 清泉女子大学 人文科学研究所
品川区

※教室を変更する場合があります。

第43回 土曜自由大学（春のコース）プログラム

回	日	午後1時～	開講式挨拶	清泉女子大学 人文科学研究所長 品川区 文化観光戦略課長	講師紹介
1	5月24日（土）	午後1時10分～2時40分	テレビの未来は どうなるのか	スマートフォンの普及によって、テレビの社会的価値が低下していると言われます。広告費は2019年にネットに抜かれ、接触時間も減少傾向にあります。居間で家族揃ってテレビを見る光景は昔のことのようです。近年では動画配信サービスが番組制作にも乗り出し、テレビ文化の根幹である制作力が揺らぎ始めているという指摘もあります。テレビはこれからどうなるのか。テレビの歴史を振り返りつつ、その未来を展望します。	清泉女子大学地球市民学部教授 かね きよ しん いち 兼 清 慎 一 慶應義塾大学を卒業後、NHKに記者として入局。フランクフルト支局長、ロンドン支局長、報道局ネットワーク報道部チーフプロデューサー、ニュース番組・ニュースサイト編集責任者等を歴任。2015年、八ヶ岳南麓の山梨県北杜市に移住をきっかけに、NHKを退局し、山梨県立大学の教員を経て現職。北陸先端科学技術大学院大学・JAIST 博士後期課程所属。修士（知識科学）。
		午後2時50分～4時20分	絵画のなかの植民地 —メキシコ史の視点から—	みなさんは、日本や欧米以外の地域の、数百年も昔の絵画を眺めた経験は、あまり多くはないのではないのでしょうか。今回は、そういう絵画のうち、メキシコのものをご紹介します。時代はスペインが植民地支配していた16-19世紀、日本だと戦国から江戸時代に相当します。当時のメキシコでは、ヨーロッパの技法に、日本や中国、それに現地在来の手法が加わって、多彩な絵画が描かれました。そういう絵画のなかに当時の社会がどのように描かれていたのか、観察します。	慶應義塾大学商学部教授 ふし み たけ し 伏見 岳 志 東京大学大学院総合文化研究科修了。博士(学術)。専門は、ラテンアメリカ史、環大西洋史。おもに、メキシコなどのスペイン領各地のモノや情報の流通について研究している。共著に『近代ヒスパニック世界と文書ネットワーク』（悠書館）、『史料が語る東インド航路』（勉誠出版）、『1683年 近世世界の変容（歴史の転換期7）』（山川出版社）などがある。

2	5月31日（土）	午後1時10分～2時40分	『源氏物語』の 楽しみ方	『源氏物語』は、日本の古典を代表する傑作として、海外にも知られている素晴らしい作品です。しかし、一方で、1000年も前の長編物語ということもあり、現代語訳でさえ気軽に読むことができないと思われるのもたしかです。本講演では、昨年大河ドラマ「光る君へ」などを例として、現代においてどのように『源氏物語』が受容されているのかを確認しながら、肩の力を抜いて『源氏物語』を楽しむコツを考えていきます。	清泉女子大学総合文化学部教授 ふじ い ゆき こ 藤井 由紀子 島根県生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程（文化表現論専攻）修了。博士(文学)。大阪大学助教等を経て、2010年より清泉女子大学教員。『源氏物語』を中心とした平安・鎌倉時代の物語文学を専門とする。おもな業績に、『異貌の『源氏物語』』（武蔵野書院 2021年）、『兵部卿物語全釈』（武蔵野書院 2019年）など。NHK Eテレ「趣味どきっ！」シリーズ「源氏物語の女君たち」（2024年2・3月放映）で講師を務める。
		午後2時50分～4時20分	ジェンダーの視点で 読み解く 「源氏物語絵巻」	国宝≪源氏物語絵巻≫「横笛」段には、高位の貴族である雲居雁の乳房があからさまに描かれています。従来この描写は、非貴族性や貴族女性の反モデルを示すものと解釈されてきました。しかし絵巻の詞書や源氏物語本文と比較すると、描かれた雲居雁の乳房の表象は明らかに異なっており、特別な意味が付与されたものと考えられます。本講座では、新たな視点から考察を行い、雲居雁の乳房にいかなる意味があり、どのような物語を視覚的に語っているのか考察します。	日本女子大学国際文化学部准教授 みず の りょう こ 水野 僚子 学習院大学大学院人文科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。徳川美術館研究員、日本学術振興会特別研究員、国立歴史民俗博物館研究員等を経て、2009年より大分県立芸術文化短期大学国際文化学科、2012年より日本女子大学人間社会学部文化学科准教授として勤務。2023年より現職。専門は日本の物語絵巻の研究、表象文化論。研究では、ジェンダーや階級、ポストコロナの視点を重視する。近年話題となった国立歴史民俗博物館の展覧会「性差の日本史」（2021）では、展示プロジェクト委員を担当。

※当日、内容等変更になる場合があります。